

各位

2023年8月23日

GNSS-Pro XとSS-PROの計算結果の差異に関して

株式会社神戸清光 大阪支店
マーケティンググループ

平素より弊社取り扱い製品へのご厚遇を賜り、誠にありがとうございます。
この度、GNSS-Pro XとSS-PROの計算結果に差異があるとの問合せが寄せられており、ご説明が不十分な点がございましたので、本案内をもって補足説明をさせていただきます。
メンテナンスユーザ様には、メールにてご案内させていただきます。
お客様には、ご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんでした。
お手数ではございますが、お客様へご案内いただきますようお願い申し上げます。

記

【お問合せ内容】

同じスタティック観測データを同じ条件(※1)で解析した結果がGNSS-Pro XとSS-PROで差異がある。

※1 使用衛星、ジオイドファイル、セミダイナミックファイルは全て同じ。

【原因】

GNSS-Pro XはSS-PROより新しいバージョンの基線解析プログラムを搭載しています。
そのため、基線解析の結果がGNSS-Pro XとSS-PROとで異なることがあります。

【対応】

GNSS-Pro XとSS-PROも、国土交通省国土地理院へGNSS測量観測手簿・GNSS測量観測記簿を提出し、基線解析プログラムの変更が精度に影響しないことを確認されており、機種登録の一覧に記載されております。

<https://www.gsi.go.jp/common/000248168.pdf>

また、GNSS-Pro X と SS-PRO の精度比較を行う場合、SS-PRO を使用した公共測量においては、RINEX ver2.11 を利用することでサイクルシフト補正の扱いの違いによる影響はなくなりますので、RINEX ver2.11 をご使用願います。

詳細につきましては、国土地理院ホームページの以下の掲載内容をご参照願います。

[RINEX ver3.02 の変更について \(gsi.go.jp\)](#)

国土交通省国土地理院 問い合わせ先 : 電話:029-864-1111(代表)

【今後の対応】

SS-PRO につきましても、GNSS-Pro X と同様な基線解析プログラムを搭載したバージョンをトプコンホームページ上に 2023 年 11 月末掲載予定で進めております。

【お問合せ先】

詳細についてのお問い合わせは、株式会社トプコンソキアポジショニングジャパン コールセンターまでお願いいたします。

電話番号： 0120-78-4100

E-mail: sokuryo@topcon.co.jp

以上